

## 八戸駅前東口広場整備基本計画の概要について

### 1. 経緯

八戸駅前東口広場は、平成4年度の供用開始から約30年が経過し、施設の老朽化が進み、改修と合わせた機能改善が必要であるとともに、バスと自家用車の交錯や入庫待ち車両の道路へのはみ出しなど、安全面での問題が指摘されている。

平成26年度には、八戸駅前西口広場の整備に向け、学識経験者及び公共交通事業者、八戸駅周辺地区の代表者、交通管理者で構成する「八戸駅前広場整備基本計画検討委員会」を組織し、八戸駅全体における課題整理や機能分担を行った上で意見をとりまとめ、「八戸駅前広場整備基本計画」を策定している。

東口広場の具体的な改善の方向性については、関係機関等と意見交換を継続して参りましたが、平成31年3月に西口広場の整備が完了したこと、さらには東口広場の交通結節点としての機能の重要性が増してきたことから、令和3年度にあらためて「検討委員会」を設置し、検討を進めてきたところである。

### 2. 検討委員会の状況

令和3年度は会議を3回開催し、委員意見を基に東口広場の課題整理と整備方針の方向性をとりまとめ、令和4年度は「八戸駅前東口広場整備基本計画策定支援業務委託」を実施、これにあわせて会議を3回開催し基本計画をまとめている。

### 3. 基本計画の主な内容

#### ○バスエリア（広場左側）

- ・駐車場を廃止し、出入口を1箇所に集約した上でバス専用空間化
- ・路線バス方面別バス乗り場の維持や観光バス乗降場の位置変更
- ・ユートリー1階をバス待合所としバスナビゲーションシステムの導入

#### ○タクシー・自家用車エリア（広場右側）

- ・タクシーと自家用車を共存させ、タクシープールの台数見直し
- ・送迎用の自家用車の周回スペースを確保し、出入口を1箇所に集約
- ・屋根付き身体障がい者等乗降用優先スペースを設置

#### ○広場空間（広場中央）

- ・広場スペースを拡張し、各種イベントや憩いの場として活用
- ・わかりやすく統一性のある案内サイン、デジタルサイネージの導入検討

### 4. 今後の予定

令和5年度	関係機関との協議
令和6年度以降	実施設計、整備工事を実施

○八戸駅前東口広場の現況



○八戸駅前東口広場整備イメージ

